



新センター長のご挨拶

センター長 秋下 雅弘



4月より許 俊鋭先生の後任としてセンター長に就任いたしました秋下雅弘です。前職は東京大学老年病学／老年病科教授で、老年医学を専門としてその臨床・研究・教育に邁進してまいりましたので、専門医療機関である東京都健康長寿医療センターで働けることを心より嬉しく思います。どうかよろしく願いいたします。

さて、当院は都内唯一の高齢者専門高度医療センターとして、「患者さんとご家族に喜ばれる医療」の実現をモットーとしています。高齢者に多い脳心血管疾患、がん、認知症、糖尿病の診療を重点医療としていますが、骨・関節疾患、腎臓病、感覚器疾患(白内障、難聴)、肺疾患などについても優秀なスタッフと十分な診療設備を備え、救急医療にも力を入れており、小児科、産科関連疾患を除くすべての疾患の診療に対応いたします。

このように、当院では高齢者への高度最先端医療、高齢者に優しい低侵襲医療を可能な限り取り入れています。地域でのコホート研究なども行っている研究所を備えたセンターとして、地域の高齢者の「健康で幸せな」未来を拓いていく事が私達の重要な使命と考えています。当院では、それぞれの患者さん、ご家族の方々への十分な説明に基づく同意を頂いた上で、(1)質の高い医療、(2)退院後の"生活の質"を考慮した医療、(3)地域の医療機関・介護施設との連携した一貫した医療を提供いたします。退院に際しましても、退院後の生活が円滑に行えるように最大限の支援をさせていただきます。

今後とも当院は地域連携に力を入れてまいりますので、どうか引き続きの積極的なご紹介をお願いいたします。患者さん、ご家族のみならず、連携先にも丁寧で優しい対応を心掛けるよう、スタッフ一同真摯な努力を積み重ねていく所存です。



名誉センター長 許 俊鋭

寒さも和らぎ、桜満開の季節を迎えました。連携医の先生方には常日頃、本当にお世話になって参りました。コロナ禍の中で地域連携はますます重要となり、令和5年度は紹介率78%、逆紹介率107%の実績となり、ひとえに連携医の先生方のご指導・ご鞭撻のおかげと感謝申し上げます。当センターは令和6年4月からは地域医療支援病院の認定を受け、今後更に連携を強化させていく所存です。

高齢化率が30%に近づく中で、私共は、健康寿命の延伸に脳卒中や心臓血管疾患、高齢者がん、認知症や高齢者糖尿病への取組が極めて重要と考え、2023年に始まった第四期中期計画では『「介護予防・フレイル予防」及び「認知症との共生・予防」を重点分野に位置づけ、健康寿命の延伸に寄与すること』を目標に頑張ってお参りました。

2020年に始まったコロナパンデミックでは、病院と研究所が一体となってコロナ対策に取り組み、中でも若手研究員が中心となって、コロナ禍早期から地域の皆様に十分なPCR検査体制を提供し、ECMO治療を含む重症コロナ症例に対する積極的な診療を行って参りました。また、都が設営する宿泊療養施設や大規模ワクチン接種場にも多数の医師・薬剤師・看護師部隊を派遣して参りました。

私は、2011年より副院長として4年間・センター長として9年間、当センターで働く事ができ、大変幸せに思っています。地域の先生方には長い間お世話になり、心から感謝申し上げます。東京都健康長寿医療センターが地域の先生方と共に益々の発展する事を願って退任のご挨拶とさせていただきます。



時村 文秋

2008年4月、前身の東京都老人医療センターに整形外科部長として赴任して以来、16年間、当センターに勤務してきました。

この間、患者さんの紹介・逆紹介等を通して、連携医の先生方には大変お世話になり、感謝しております。

2013年外科総括部長、2020年外科系副院長を拝命してからは、整形外科診療にとどまらず、管理的な業務にも多く携わってきました。

特にこの4年間は、当センターもコロナ感染流行の影響を強く受け、鳥羽理事長、許センター長の強力なリーダーシップの下、職員一丸となって対応に取り組んできました。

流行早期に連携検査外来と命名したPCR検査外来をいち早く立ち上げ、隣接する豊島病院とも連携しつつ、診療を行ってきました。

昨年、感染症5類扱いとなりましたが、高齢者にとってはいまだにリスクの高い疾患であり、現在も入院患者受け入れは継続しています。

また、いつかは必ず発生すると予測される大災害に備えて、2023年には板橋区医師会、薬剤師会、柔道整復師会、板橋区との合同防災訓練も行わせていただきました。

私自身は年度末を持って退職となりますが、引き続き、当センターへのご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

各種問い合わせ



● 予約センター **03-3964-4890** (平日 9:00~17:00)

● 緊急受診・緊急入院のご相談 **03-3964-1141**

※「緊急受診(入院)の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話しください。

● 脳卒中科ホットライン **080-4116-1141**

※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。